

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月18日（中学校英語「話すこと」は後日実施）に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果を報告します。

報告内容

- 1 調査の実施状況
- 2 教科に関する調査の結果
 - ・小学校国語、算数
 - ・中学校国語、数学、英語
- 3 質問紙調査（生活や経験について）の結果
- 4 教科に関する調査の結果と質問紙調査の結果との関係から
- 5 結果をもとにした今後の取り組み

1 調査の実施状況

調査実施日	令和5年4月18日（中学校英語「話すこと」は後日実施）
調査内容	教科に対する調査【小学校】国語、算数 【中学校】国語、数学、英語 質問紙調査 【小学校】【中学校】
調査対象	小学校21校6年、中学校8校3年
調査状況	小学校 国語1, 717名、算数1, 716名 中学校 国語1, 785名、数学1, 784名 英語1, 785名（「話すこと」1, 428名）

2 教科に関する調査の結果

各教科それぞれの領域について、全国の平均正答率と比較をし、

「◎：たいへんよくできている」

「○：よくできている」

「□：おおむねできている」

「△：やや劣っている」

「▲：努力を要する」の5段階で示した。（以下の例参照）

（例）

教科の総合判定

A教科 「○ よくできている」

学習指導要領の内容	B 書くこと	□
評価の観点	知識及び技能	○

この場合、A教科において、総合判定では全国比で「○ よくできている」という結果であると示している。また、「B 書くこと」に関しては、全国比で□「おおむねできている」。「知識及び技能」については、全国比で○「よくできている」という結果であると示している。

<小学校6年生（教科に関する調査結果）>

国語全体 おおむねできている

分類		区分	結果
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	△
		(2) 情報の扱い方に関する事項	□
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	□
		B 書くこと	□
C 読むこと		□	
評価の観点	知識・技能	□	
	思考・判断・表現	□	
問題形式	選択式	□	
	短答式	△	
	記述式	□	

問題番号	出題の趣旨	結果
1三 (1)ア	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる（「いがい」）	▲
1三 (1)ウ	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる（「きかん」）	○

算数全体 おおむねできている

分類		区分	結果
学習指導要領の領域		A 数と計算	□
		B 図形	△
		C 変化と関係	□
		D データの活用	□
評価の観点	知識・技能	□	
	思考・判断・表現	□	
問題形式	選択式	□	
	短答式	□	
	記述式	□	

問題番号	出題の趣旨	結果
1(3)	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる	○
2(1)	台形の意味や性質について理解している	▲
2(3)	正三角形の意味や性質について理解している	△
2(4)	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる	▲
3(2)	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる	◎

<中学校3年生（教科に関する調査結果）>

国語全体 おおむねできている

分類		区分	結果
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	<input type="checkbox"/>
		(2) 情報の扱いに関する事項	<input type="checkbox"/>
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	<input type="checkbox"/>
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	<input type="checkbox"/>
		B 書くこと	<input type="checkbox"/>
C 読むこと		<input type="checkbox"/>	
評価の観点		知識・技能	<input type="checkbox"/>
		思考・判断・表現	<input type="checkbox"/>
問題形式		選択式	<input type="checkbox"/>
		短答式	<input type="checkbox"/>
		記述式	<input type="checkbox"/>

問題番号	出題の趣旨	結果
2二	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができる	<input type="radio"/>
3一	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる	<input type="radio"/>
4二	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができる	<input type="radio"/>

数学全体 よくできている

分類		区分	結果
学習指導要領の領域		A 数と式	<input checked="" type="radio"/>
		B 図形	<input type="checkbox"/>
		C 関数	<input type="checkbox"/>
		D データの活用	<input type="radio"/>
評価の観点		知識・技能	<input type="radio"/>
		思考・判断・表現	<input type="checkbox"/>
問題形式		選択式	<input type="radio"/>
		短答式	<input type="radio"/>
		記述式	<input type="checkbox"/>

問題番号	出題の趣旨	結果
1	自然数の意味を理解している	<input checked="" type="radio"/>
2	数と整式の乗法の計算ができる	<input checked="" type="radio"/>
3	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している	<input checked="" type="radio"/>
5	累積度数の意味を理解している	<input checked="" type="radio"/>
6(2)	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	<input checked="" type="radio"/>
6(3)	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができる	<input type="radio"/>
7(1)	四分位範囲の意味を理解している	<input type="radio"/>

英語全体 ◎たいへんよくできている

分類	区分	結果
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	◎
	(2) 読むこと	◎
	(3) 話すこと [やり取り]	○
	(4) 話すこと [発表]	□
	(5) 書くこと	◎
評価の観点	知識・技能	◎
	思考・判断・表現	○
問題形式	選択式	◎
	短答式/口述式	○
	記述式/口述式	○

問題番号	出題の趣旨	結果
1 (1)	情報を正確に聞き取ることができる	◎
1 (3)	情報を正確に聞き取ることができる	◎
3	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる	◎
5 (1)	情報を正確に読み取ることができる	◎
5 (2)	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる	◎
7 (1)	文と文との関係を正確に読み取ることができる	◎
8 (1)	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる	◎
9 (1) ①	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる	◎
9 (2)	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる	◎
話 1 (4)	日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができる	◎

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果

児童・生徒質問紙（小・中学校）：調査する学年の児童生徒を対象とした、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査を実施した。安城市の結果データをもとに全国と比較し、よいと思われる回答と、課題があると思われる回答を以下に示す。

<小学校6年生（質問紙調査の結果）>

【全国比でよいと思われる回答】

<p>学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）</p> <p>→ これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどの ICT 機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）があったと答えた児童が多い。</p>
<p>学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）</p> <p>→ 「算数を好き」と答えた児童や、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題に対し、途中であきらめることなく最後まで解答を書こうと努力する児童が多い。</p>

【全国比で課題があると思われる回答】

学習習慣、学習環境等 → 家で自分で計画を立てて勉強をしている児童が少ない。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語) → 「国語の勉強が好き」、「国語の授業の内容がよくわかる」「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている」「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている」と答えた児童が少ない。
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 → 今までの授業において「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた」と答えた児童が少ない。

<中学校3年生（質問紙調査の結果）>

【全国比でよいと思われる回答】

学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学） → 「数学の勉強が好き」「数学の授業の内容はよくわかる」と答えた生徒が多い。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語） → 今までの授業で「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と答えた生徒が多い。

【全国比で課題があると思われる回答】

総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳 → 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と答えた生徒が少ない。
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 → 「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた生徒が少ない。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語） → 「国語の勉強が好き」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫した」と答えた生徒が少ない。

4 教科に関する調査の結果と質問紙調査の結果との関係から

安城市における質問紙調査結果と平均正答率の相関関係について、正答率が高い層にみられる傾向を以下に示す。

<小学校6年生（正答率が高い層にみられる傾向）>

基本的な生活習慣等	毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童が多い。
	毎日、同じくらいの時刻に起きている児童が多い。
挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童が多い。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	「国語の勉強は大切だ」と答えた児童が多い。
	「国語の授業の内容はよく分かる」と答えた児童が多い。
	「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と答えた児童が多い。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）	「算数の勉強は大切だ」と答えた児童が多い。
	「算数の授業の内容はよく分かる」と答えた児童が多い。
	「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と答えた児童が多い。

<中学校3年生（正答率が高い層にみられる傾向）>

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	今までの授業で「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなど工夫して発表していた」と答えた生徒が多い。
	今までの授業で「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と答えた生徒が多い。
	今までの授業で「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と答えた生徒が多い。
	「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と答えた生徒が多い。
	「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と答えた生徒が多い。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	「授業の内容はよく分かる」と答えた生徒が多い。
	「授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえている」と答えた生徒が多い。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学）	「授業の内容はよく分かる」と回答した生徒が多い。
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）	「英語の勉強は好き」と答えた生徒が多い。
	「授業の内容はよく分かる」と答えた生徒が多い。
	今までの授業で「英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていた」と答えた生徒が多い。
	今までの授業で「英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていた」と答えた生徒が多い。
	今までの授業で「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と答えた生徒が多い。

5 結果をもとにした今後の取り組み

各教科の全国的な課題や安城市の傾向を踏まえた今後の取り組みについて、各教科（国語、算数、英語）と質問紙調査でまとめた。

(1) 全国的な課題と安城市の今後の取り組みについて<国語>

<全国的な課題>

国語においては、情報と情報との関係について理解することや、複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり、書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

今後の取り組み

<共通>

- ・「好きだ」「分かる」「学んだことが役に立った」など、学ぶ意欲を向上させる授業展開をし、国語に意欲的に取り組む児童生徒を目指していく。

<小学校>

- ・漢字の書きについては、意味や用法などの知識を習得させるとともに、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことができるように指導する。
- ・児童が日常生活において考えをまとめる際に、単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討するように指導する。

<中学校>

- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く学習活動を充実させる。
- ・相手の話の内容を的確に捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるように指導する。

(2) 全国的な課題と安城市の今後の取り組みについて<算数・数学>

<全国的な課題>

算数・数学においては、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や計量について考察することや、問題解決の過程や結果を振り返って考察することに課題がある。

今後の取り組み

<共通>

- ・「好きだ」「分かる」「あきらめずに考える」など、今ある学習意欲を大切にしながら、算数・数学に意欲的に取り組む生徒を目指していく。

<小学校>

- ・問題を解決する際に必要な情報を主体的に見出したり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導する。

<中学校>

- ・事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動を充実させる。

(3) 全国的な課題と安城市の今後の取り組みについて<英語>

<全国的な課題>

英語においては、日常的な話題に関する文章の概要を捉えたり、社会的な話題について自分の考えや理由を表現したりすることに課題がある。

今後の取り組み

- ・「好きだ」「分かる」「学んだことが役に立った」など、学ぶ意欲を向上させる授業展開をし、英語に意欲的に取り組む生徒を目指していく。
- ・自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動や、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で表現する言語活動を継続的・計画的に取り入れる。

(4) 質問紙調査結果から明らかになったことと、今後の取り組みについて

<学校及び児童生徒に対する質問紙調査の結果から、全国的に明らかになったこと>

- ・主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる
- ・英語の授業において、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動に取り組む学校が増加しており、また言語活動に取り組んでいると受け止めている生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られる
- ・学校における ICT 機器の活用が進んでおり、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行っている学校ほど、ICT 機器を活用している傾向が見られる
- ・主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、児童生徒の自己有用感等にも影響を与えている可能性がある

今後の取り組み

- ・自分で計画を立てる家庭学習の支援を意識しながら、規則正しい生活習慣を大切にしていける。
- ・課題に向けて主体的に取り組む、話し合いながら学んだことを生かしていく授業や、自己の学びを振り返り、学習の見通しをもつ活動を推進し、主体的・対話的な学びの充実を図る。
- ・引き続き ICT 機器の有効な活用について検討し、授業改善に生かしていく。